

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位・90時間	開講時期	3年・後期
授業科目名	統合実習			授業形態	臨地実習
担当教員	武森 勢津子		実務経験	○(看護師)	
授業概要	急激に変化している医療、社会環境の中で基礎教育と臨地との乖離を緩和する。これまでの学習を統合させつつ、チーム医療および他職種との協働の中で看護師としての役割を理解し、安全な医療や看護が実践できる能力を臨地に近い状況で学ぶ。				
学習目的	看護チームの一員としての実践をととして、知識・技術を統合し看護実践に必要な思考力・判断力・表現力を養う。また、看護者に求められる基本的態度を探究する姿勢を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複数患者を受け持ち多重業務を実践することで、優先度を判断する必要性が理解できる。</li> <li>2. 看護単位の看護管理の実際および看護チームのリーダーの役割と業務について理解できる</li> <li>3. 看護チームの業務の流れを把握し、チームメンバーとして役割と業務が理解できる。</li> <li>4. 既習の知識・技術を統合し、問題解決のための思考、判断、表現ができる。</li> <li>5. 看護者としてあるべき姿と自己の目標を明確にすることができる。</li> <li>6. 重症集中治療が必要な患者への看護を見学することで、看護実践における思考、判断、表現の必要性を学ぶ。</li> </ol>				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複数患者を受け持ち多重業務を実践することで、優先度を判断する必要性が理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 複数患者の疾患・治療・検査・処置および現在の状態を把握する。</li> <li>2) 病棟の看護計画を参考に複数患者の援助計画を立案する。</li> <li>3) 患者の状態を判断して優先順位を考え行動計画に沿って援助を行う。</li> <li>4) 複数患者の個々の状況を判断して行動計画の変更・修正を行う。</li> <li>5) 行動計画変更の際の相談や報告を行う。</li> <li>6) 援助を時間内に行うなど時間管理の必要性を理解する。</li> </ol> </li> <li>2. 看護単位の看護管理の実際および看護チームのリーダーの役割と業務について理解できる <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護単位の看護管理の実際を理解する。</li> <li>2) リーダーの役割と業務について理解する。</li> </ol> </li> <li>3. 看護チームの業務の流れを把握し、チームメンバーとして役割と業務が理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日勤業務の一日の流れを理解する。</li> <li>2) 看護チームでの看護師の役割と業務を理解する。</li> <li>3) チームメンバーとの連携(報告・連絡・相談)</li> <li>4) 一日の業務の流れにおける援助の優先順位の考え方と時間配分の必要性を理解する。</li> </ol> </li> <li>4. 既習の知識・技術を統合し、問題解決のための思考、判断、表現の必要性を学ぶ。</li> <li>5. 看護者としてあるべき姿と自己の目標を明確にする。</li> <li>6. 重症集中治療が必要な患者への看護から看護実践における思考、判断、表現の必要性を学ぶ。</li> </ol> <p>実習期間:9日間  実習時間:8:00~16:30  実習展開については実習要項参照</p>				
評価方法	統合実習の評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から学生・教員(臨地実習指導者所見)で評価を行い総合評価がC以上で合格とする。				
教科書 参考図書 等	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践1 看護管理(医学書院)				
備考					